白岡市議会議員

渡辺そういちろう 市政運信 101.18

発行元: 若き風の会【討議資料】

市長選挙も終わり新たなまちづくりが始まります。これまで皆様から色々なご意見・ご要望を頂き、一つひとつ取り組んできました。議員の立場ではできる事は限られるかもしれませんが、これからも「できない理由」ではなく「できる方法」を考えて市を改善していきたいと思います。市政通信では議会で行った一般質問や重要トピックを中心に報告します。



-般質問では市民の方からご相談頂いた「空き家問題」と「子育て環境」を取り上げました。

1 空き家・空き店舗のさらなる活用を

渡辺:増加する空き家や空き店舗を再生・活用して地域活性化に取り組む事が必要だ。他市では遊休不動産と事業者をマッチングして新しい商店や産業を創る「リノベーションまちづくり」に取り組む例がある。白岡でも遊休不動産の再生と新たな商業の育成を図る積極的な取り組みを。

市:市内に空き家や空き店舗が増加していることは認識している。 現在、市が力を注いでいる創業支援事業等を継続するとともに、 空き家バンクの活用等について積極的に情報提供を行っていく。

※現在、市の空き家は350件。今後も増加が予想されます。

2 増加する待機児童に対策を!!



Point

渡辺:「保育所に入れなかった」「待機児童が解消されない」という切実な声を多くの方から頂く。待機児童が毎年増加しているようだが保育需要の把握はできているのか。また電車通勤の方々から駅に近い保育園を希望する声を頂く。JRと協力して駅チカ保育所の設置を進められないか。

市:保育需要はアンケート調査、利用申込実績、人口推計などから推計して量を見込んだ。保育所整備計画をもとに 5 年間で待機児童の解消を目指している。今後の保育所整備については、社会情勢や保育需要の動向を見ながら、駅チカ保育所の設置を検討していく。

昨年 13 名だった待機児童が 48 名と大幅増!(隠れ待機児童数を含めると 81 名) 渡辺は「保育所整備計画の柔軟な見直し」と「早急な環境整備」を求めています。

白岡中学校周辺の土地利用は見直しになりました。



白岡中学校周辺の開発計画が見直しになりました。先日の議会協議会の場で市から「白岡中学校周辺にショッピングモール等を誘致する予定をしていたが、実現が難しくなった。」と説明がありました。新型コロナの影響で事業者の出店意欲がなくなったとの事。しかし実際はそれだけが理由ではありません。周辺の道路混雑の問題、うまくいかない県との調整、難しい地権者の合意形成、色々な課題によって実現困難となっています。今後は地権者と話し合いながら土地利用の方向性を模索していくとの事です。

このままでは白岡は何も変わらない!これから何が必要なのか?
①白岡はまちづくりの将来ビジョンや優先順位が不明確です。もっと合理的に土地利用の計画を立て、市民や関係機関と共有する必要があります。
②商業施設や企業を呼ぶには市の積極的な営業活動が必要だと考えます。
もっと前面に出て交渉に乗り出す、市長のトップセールスが必要です。
③私は「他の市からも人が訪れるような魅力ある施設」や「10 年後の市の

発展に繋がるようなインパクトのある計画」が必要だと考えています。



競会で提言していきます [





◆白岡消防署を視察 総務委員会で白岡消防署、篠 津分署を視察しました。



◆<u>委員会活動</u> 総務委員会では委員長として 会議の運営をしています。



◆久しぶりに 秘書時代にお世話になった 平沢勝栄大臣と面会。



◆議会改革 議会の情報公開やIT導入など 議会改革に取り組んでいます。

【渡辺そういちろうPROFILE】

IT 企業勤務を経て、衆議院議員平沢勝栄の公設秘書として 政治活動に参加。2015 年春より白岡市議会議員として活 動。明治大学大学院ガバナンス研究科卒業。公共政策修士。 渡辺そういちろう にて是非ご検索ください!

_090-7197-6173



http://www.so-wat.net





旧庁舎跡地の土地利用は?





白岡駅東口の旧庁舎が取り壊されました。この跡地は駐車場として利用していくとの事です。しかし駅から近く、駐車場にするには「もったいない」土地です。渡辺は民間企業に土地の活用方法を提案してもらい、賑わいを生むような施設の野野工整備を目指すべき、と提案しています。

TO BE CONTINUED · · ·